

投与されるアルブミン製剤の 原産国に対する患者意識調査

【 調査実施概要 】

1. 調査期間

2013年10月1日から2014年9月30日

2. 調査場所

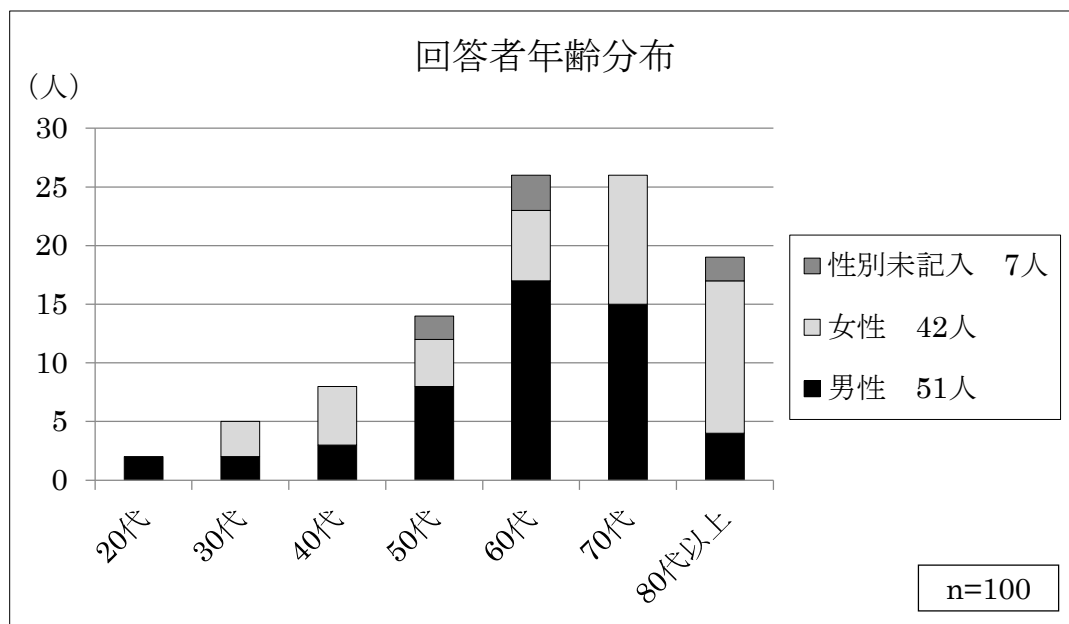
群馬県合同輸血療法委員会世話人所属の医療機関 18 施設

3. 調査対象

アルブミン製剤投与を行う、あるいは行った患者

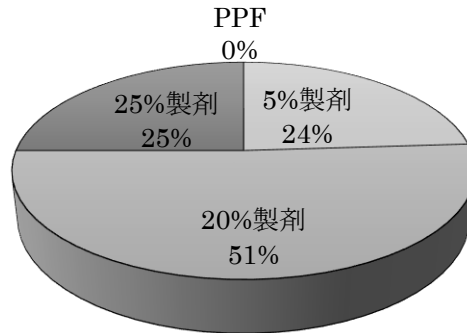
4. 回答者数

100 人

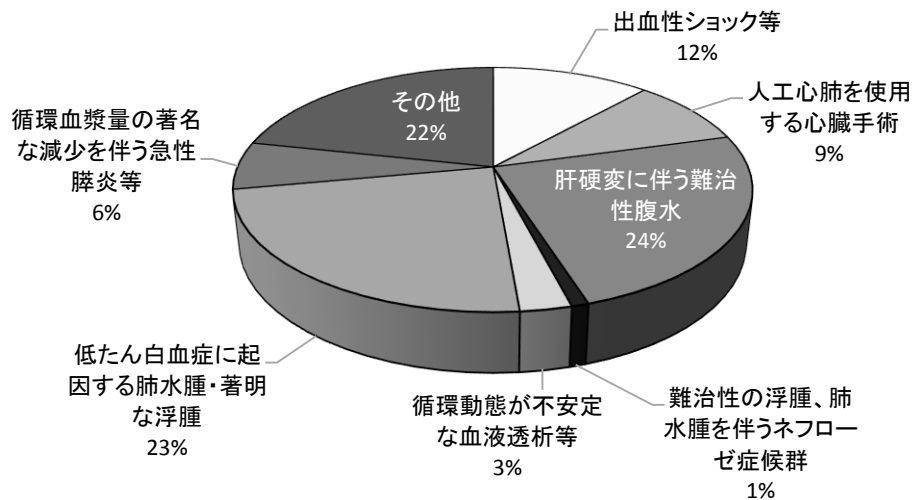


	男性	女性	性別未記入	合計
20代	2人	0人	0人	2人
30代	2人	3人	0人	5人
40代	3人	5人	0人	8人
50代	8人	4人	2人	14人
60代	17人	6人	3人	26人
70代	15人	11人	0人	26人
80代以上	4人	13人	2人	19人
合計	51人	42人	7人	100人

5. 投与したアルブミン製剤

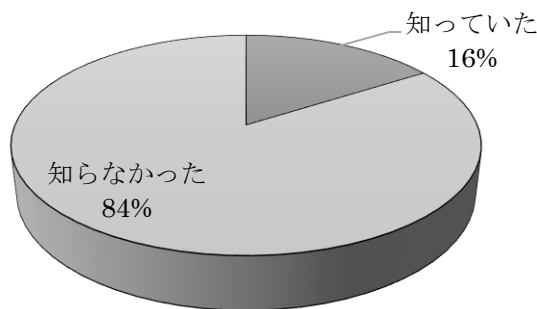


6. アルブミン製剤の使用用途（複数回答あり：n=111）

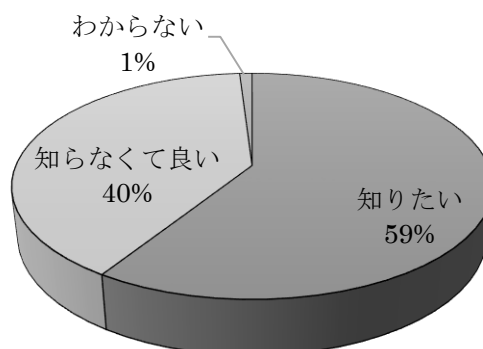


【 調査結果 】

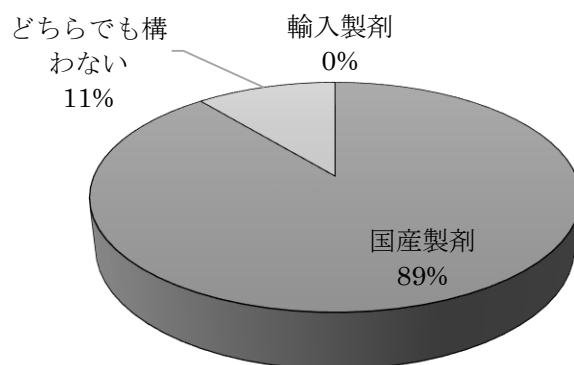
Q1：アルブミン製剤の原料血液の確保方法には「献血（自発的な無償の献血）」と「非献血（有償による血液の提供）」があることをご存じでしたか？



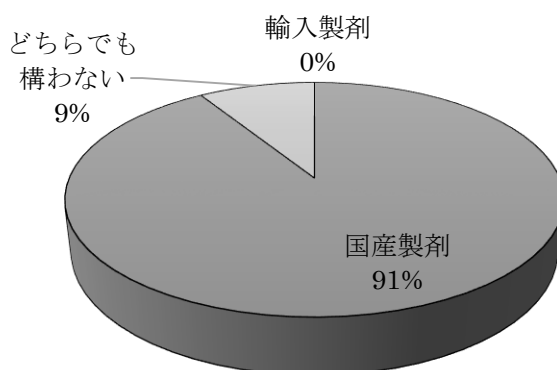
Q2：アルブミン製剤の原料血液の採血国を知りたいですか？



Q3：国産製剤と輸入製剤のどちらをしたいと思いますか？



Q4：国産製剤の方が約1,100～1,500円高いですが、あなたが支払う金額は同じ場合(DPC導入病院)、どちらを希望しますか？



Q5：国産製剤の方が約1,100～1,500円高いため、あなたが支払う金額は3割負担の場合約330～450円、1割負担の場合約110～150円支払う金額が上がるとしたら、どちらを希望しますか？

